

早池峰山周辺植生保護柵撤去作業について

10月29日、早池峰山周辺森林生態系保護地域内に設置している植生保護柵の撤去作業を実施しました。



足下に気をつけて慎重に撤去作業中



作業後、地面に下ろされた防護ネット

これは、森林生態系保護地域内でのニホンジカによる食害からハヤチネウスユキソウ等希少植物を保護するために、令和元年から設置している植生保護柵の防護ネットが冬季間の風雪等により損傷するのを防ぐために、毎年この時期に実施している遠野支署の恒例となった作業です。

当日は、署内から支署長ほか4名、4森林事務所から各1名、それにこの日は花巻市の自然公園保護管理員の八重樫理彦氏に先導役をお願いして、総勢10名の混成チームで現地に向かいました。

難行苦行（筆者）の末1時間50分程で現地に着、先に到着していた健脚組は余裕の表情で待っていました。

一息入れて、工藤総括森林整備官より作業手順の説明の後作業を開始しましたが、急傾斜地での作業にも拘わらず40分程で撤去作業は終了。

筆者は、3回目の参加となりますが、いかに健脚者揃いとは言え、今回ほど、手際のいい作業は初めてでした。

昼食終了後、工藤総括の見事なオペレーションでドローンによるネット撤去後の写真撮影等を行って、河原の坊高所2箇所撤去作業は完了、下りながら沢沿いに設置した残りの2箇所の撤去作業も順調に進み、帰りも青息吐

息（筆者）でしたが、全員無事に下山してミーティングで反省点等述べ合ったあと解散となりました。

来年の雪解け後には、今度は保護柵を設置するために再び登ることになる訳ですが、この作業は現地への行程を含めて決して楽な作業ではありません。

それでも、毎年実施しなければならないこの地道な作業がいつか実を結び、希少な植物達が長きにわたって早池峰の峰々に咲き誇ってくれることを、切に願って河原の坊を後にしました。

大迫森林事務所首席森林官 迎山吉実